



100 私の夢はITエンジニアになることだ。

□□□ ( ) (d) ( ) ( ) ( ) an IT engineer.

**Tip** 「～すること」を表す表現は？

101 生徒が勉強と部活を両立させるのは簡単ではない。

□□□ (I) ( ) ( ) ( ) for students ( ) (b) their studies and club activities.

**Tip** 主語が不定詞で長くなるときは形式主語の it を使う。  
「AとBを両立させる」を表す表現は？

102 翻訳アプリは外国人とのコミュニケーションをより簡単にしてくれる。

□□□ Translation apps (m) ( ) (e) ( ) ( ) with people from other countries.

**Tip** 「SはOをCにする」というSVOCの文で表すが、この文ではOが長くなるので形式目的語を使う。「外国人とのコミュニケーション→外国人とコミュニケーションをとること」

103 困ったときには、相談する誰かが必要だ。

□□□ When you are in trouble, you need .....

**Tip** 「誰か」を表す代名詞を、「相談する」を表す語句を使って後ろから修飾する。

104 私は情報を得るためにインターネットを使う。

□□□ I use the internet ( ) ( ) ( ).

**Tip** 「～するために」を不定詞を使って表現すると？

### Grasp 7 形式主語(不定詞が主語)

不定詞が主語の場合、主語(S)の位置に形式的に it を置き、**真の主語**である不定詞を後に回すことがある。この it を**形式主語**の it と呼ぶ。

○ To get enough sleep is important. (十分な睡眠をとることは大切だ。)

→ It is important to get enough sleep.

形式主語

真の主語



100 My dream is to become [be] an IT engineer.

F 083 ▶ to + 動詞の原形 [to do] の形で、文の中で名詞・形容詞・副詞の働きをするものを**不定詞 [to不定詞]**と呼ぶ。→ VI14-p.6

▶ 不定詞が名詞の働きをして「～すること」という意味を表す場合、文の中で主語・補語・目的語になる。これを**不定詞の名詞的用法**と呼ぶ。この文の不定詞は補語。

101 It is not easy for students to balance their studies and club activities.

F 083 ▶ 不定詞の名詞的用法。to 以下が「～すること」という意味の名詞句で、形式主語 it の真の主語になっている。→ Grasp7

▶ for students が不定詞 to balance の意味上の主語(→ 114-1)になっている。  
○ balance A and [with] B 「AとBを両立させる」—この balance は動詞

102 Translation apps make it easier to communicate with people from other countries.

F 083 ▶ 不定詞の名詞的用法。to 以下が「～すること」という意味の名詞句で、形式目的語 it に対する真の目的語になっている。→ Grasp8 easier は easy の比較級。

□ make it easy (for A) to do 「(Aが)～するのを簡単にする」

⊕ make it possible (for A) to do 「(Aが)～するのを可能にする」

○ a translation app 「翻訳アプリ」

○ communicate with A 「Aとコミュニケーションをとる」

○ people from other countries 「外国人」

103 When you are in trouble, you need someone to talk to [with].

F 084 ▶ 不定詞は直前の名詞や代名詞を後ろから修飾する。これを**不定詞の形容詞的用法**と呼ぶ。この文では to talk to [with] が someone を修飾している。talk to [with] someone (誰かと話す)という関係が前提にあるので前置詞 to [with] は省略しない。

○ be in trouble 「困っている」

○ talk to A / talk with A 「Aと話をする、Aと相談する」

104 I use the internet to get information.

F 085 ▶ 不定詞が名詞以外の語句(動詞・形容詞・副詞など)や文全体を修飾する用法を**不定詞の副詞的用法**と呼ぶ。

▶ 目的「～するために」を表す不定詞の副詞的用法。動詞 use を修飾。

### Grasp 8 形式目的語(不定詞が目的語)

SVOCの第5文型で目的語が不定詞の場合、目的語(O)の位置に形式的に it を置き、**真の目的語**は補語(C)の後ろに置く。この it を**形式目的語**の it と呼ぶ。

× I found to book a hotel easy. (ホテルを予約することは簡単だとわかった。)

→ I found it easy to book a hotel.  
形式目的語 C 真の目的語

## 105 元気そうで何よりです。

□□□ ( ) (g) ( ) ( ) you looking so well.

**Tip** 「あなたがとても元気そうに見えるのを見て(私はうれしい)」と表現する。

## 106 ハンバーガー1個のためにこんなに長く待つなんて、私たちどうかしているね。

□□□ We must ( ) (c) ( ) ( ) this long for a burger.

**Tip** 「どうかしているね → 正気ではないに違いない」と表現する。

## 107 目が覚めると、道向かいの公園はすっかり雪に覆われていた。

□□□ I ( ) ( ) ( ) (f) that snow had completely covered the park across the street.

**Tip** 「目が覚めて、その結果…ということがわかる」を表す表現は?

## 108 学校に急いで行ったが、休日だと気づいただけだった。

□□□ I rushed to school, ( ) ( ) (r) it was a holiday.

**Tip** 「結局…ということがわかつただけだった」と表現する。

## 109 ネット上に個人情報を投稿しないように気をつけなさい。

□□□ Be careful ( ) ( ) (p) personal information online.

**Tip** 不定詞の否定形をつくるときの not の位置は?

## 110 傘をどこかに置き忘れてきたようだ。

□□□ I seem ( ) ( ) (l) my umbrella somewhere.

**Tip** 「～するようだ」を表す表現は? 「～ようだ」は「現在」のことで、「置き忘れてきた = 置き忘れた」のは「過去」のこと。不定詞を使って過去のことを表すには、不定詞の形をどうすればいい?

## 105 I'm glad to see you looking so well.

► 感情の原因「～して…」を表す不定詞の副詞的用法。→ File16

be glad to do 「～してうれしい」

see A doing 「A が～しているのを見る」

## 106 We must be crazy to wait this long for a burger.

► 判断の根拠「～するなんて…, ~するとは…」を表す不定詞の副詞的用法。

be crazy to do 「～するなんてどうかしている」

wait (this) long 「(こんなに)長く待つ」

## 107 I woke up to find that snow had completely covered the park across the street.

► 結果「…して(その結果)～」を表す不定詞の副詞的用法。→ File17

wake up [awake] to find ~ 「目を覚ますと～に気づく」

## 108 I rushed to school, only to realize it was a holiday.

► 結果を表す不定詞の副詞的用法。→ File17

..., only to do 「…したが、結局～しただけだった」

rush to A 「A へ急いで行く」

## 109 Be careful not to post personal information online.

► 不定詞の否定形は、不定詞の直前に not や never を置いて、not to do や never to do で表す。

be careful not to do 「～しないように気を付ける」

post 「～を投稿する」

**Tip** not to do 単独で「目的」の意味の「～しないように」は表せない。「～しないように」は、in order not to do や so as not to do を使って表す。→ 130-2

## 110 I seem to have left my umbrella somewhere.

► 不定詞は完了形にすることができる。to have + 過去分詞は完了不定詞と呼ばれ、〈述語動詞よりも前の動作・出来事〉や〈過去から現在まで続く動作・出来事〉を表す。この文の to have left は述語動詞 (seem) よりも前の動作・出来事を表す。

somewhere 「どこかで、どこかに」

**Grasp 9 準動詞の存在理由**

不定詞・動名詞・分詞の3つを**準動詞**という。これら3つは動詞が形を変えたものである。動詞に準ずるものなので準動詞と呼ぶ。

文には通常、文の動詞(述語動詞)が少なくとも1つある。しかし、1文の中に「2つの動作」を入れたいときにはどう表現するか。それを解決するのが準動詞。

I hope to go to college. [不定詞] (私は大学に行くことを望んでいる。)

I feel like going out. [動名詞] (出かけたい気分だ。)

Ken came running. [分詞] (ケンは走ってやって来た。)

**File 16 be + □ + to do の形で使う感情を表す形容詞**

be glad / happy / delighted / pleased to do 「～してうれしい」

be sorry to do 「～して残念だ」  be excited to do 「～してわくわくする」

be surprised to do 「～して驚く」  be relieved to do 「～してほっとする」

be disappointed to do 「～してがっかりする」  be sad to do 「～して悲しい」

be proud to do 「～して誇りに思う」

**File 17 結果を表す不定詞のその他の表現**

grow up to be A 「成長して A になる」

live to be A 「生きて A になる」

..., never to do 「…して、二度と～しない」

- 111** 将来の仕事はまだ決めていませんが、近いうちに決めたいと思っています。  
 I haven't decided on my future career yet, but ( ) (h ) ( )  
発展
- Tip** 不定詞の to の後の動詞句の繰り返しを避ける表現方法は？

- 112** その男性は何を着ようか考えている。  
 The man is thinking about ( ) ( ) ( ).  
基本
- Tip** 「何を着ようか」は「何を着るべきか」と読みかえる。

- 113** ほとんどの生徒はコンピューターの使い方を知っている。  
 Most students know ..... computers.  
基本
- Tip** 「～する方法、～の仕方」を表す表現は？

- 114-1** 子どもがスマートフォンを持つのはいい考えだ。  
 It is a good idea ..... a smartphone.  
基本
- Tip** 形式主語の文。不定詞の意味上の主語はどういうふうに表す？

- 114-2** インターンシップとは学生が会社で働く機会のことだ。  
 An internship is ( a student / for / an opportunity / to / work ) for a company.  
**Tip** 「Aが～する機会」の「Aが～する」を不定詞で表現するには？

- 115-1** 親切にも友達が試験前にノートを貸してくれた。  
 It was ..... to lend me her notebook before the exam.  
**Tip** <It is + 人の性質や人柄などを表す形容詞>の後に不定詞を続ける場合、意味上の主語はどう表す？

- 115-2** 身体障害者用駐車場に駐車するなんて、その運転手は配慮に欠けている。  
 It is (t ) ( ) the ( ) to park in the disabled parking spot.  
**Tip** 「配慮に欠けている」は人の性質を表す形容詞だから、意味上の主語はどう表す？

111  
115Self  
Check**File18** 疑問詞 + to不定詞

- what to do 「何を～すべきか」  which to do 「どちらを～すべきか」
- who [whom] to do 「誰を [誰に]～すべきか」
- when to do 「いつ～すべきか」  where to do 「どこへ～すべきか」
- how to do 「どのように～すべきか、～する方法」

Words to Use  hope / children / kind / thoughtless

- 111** I haven't decided on my future career yet, but I **hope to** soon.  
F 095
- 不定詞の to の後に、前に出てきたものと同じ動詞(句)がくる場合、繰り返しを避けるために to だけを残して動詞以下を省略することがある。この to を**代不定詞**と呼ぶ。..., but I hope to (decide on my future career) soon. と同じ意味を表す。  
○ hope to do 「～することを望む [願う]」

- 112** The man is thinking about **what to wear**.  
F 090
- 疑問詞 + to不定詞は名詞句となり、文の中で主語・目的語・補語になる。この文では前置詞 about の目的語になっている。→ File18  
□ what to do 「何を～すべきか」

- 113** Most students know **how to use** computers.  
F 090
- 不定詞句の how to use computers が know の目的語。  
□ how to do 「どのように～すべきか、～する方法」

- 114-1** It is a good idea **for children to have** a smartphone.  
F 086
- 不定詞は動詞の性質を持っており、その動作の主語にあたるものを**不定詞の意味上の主語**と呼ぶ。意味上の主語を明示する場合は、for + 名詞 [代名詞] を不定詞の直前に置く。  
 It is a good idea ..... to have a smartphone.  
 → It is a good idea **for children** to have a smartphone.  
意味上の主語

- 114-2** An internship is **an opportunity for a student to work** for a company.  
F 086
- for A to do 「A が～する」が直前の名詞 (an opportunity) を修飾。→ 114-1  
○ opportunity for A to do 「A が～する機会」

- 115-1** It was **kind of my friend** to lend me her notebook before the exam.  
F 086
- It is の後に人の性質や人柄などを表す形容詞がくる場合、of + 名詞 [代名詞] で不定詞の意味上の主語を表す。→ File19  
○ lend A B 「A に B を貸す」 ⇔ borrow B from A 「A から B を借りる」

- 115-2** It is **thoughtless of the driver** to park in the disabled parking spot.
- the driver が不定詞の意味上の主語。thoughtless は人の性質を表す形容詞なので of を使う。→ 115-1, File19  
○ park ①名詞「公園」②動詞「駐車する、～を駐車する」  
 ○ disabled 「身体障害の」 = physically challenged

**File19** It is +  + of + 名詞 [代名詞] + to do の形で使う形容詞

- kind / good / nice 「親切な」  stupid / foolish / silly 「ばかな、愚かな」
- smart / wise / clever 「賢明な」  careless 「不注意な」
- thoughtless 「配慮に欠けている」  bad 「ひどい」  wrong 「間違っている」
- brave 「勇敢な」  polite 「礼儀正しい」  rude / impolite 「失礼な、無礼な」
- selfish 「身勝手な」  cruel 「残酷な」  considerate 「思いやりのある」

116-1 日本の企業は従業員に忠誠心を求める。

Japanese companies ( their / loyal / be / employees / want / to ).  
**Tip** 「従業員に忠誠心を求める → 従業員に忠実でいてほしい」と表現する。

116-2 食堂で私たちと一緒に昼食をいかがでしょうか。

We ( join / you / to / like / us / would ) for lunch in the cafeteria.  
**Tip** 「一緒にいかがでしょうか → 私たちに加わってほしいのですが」と表現する。

117-1 今日では、生徒に給食を全部食べさせる教師はほとんどいない。

Today, few teachers (m ) (e ) all of their school meals.  
**Tip** 原形不定詞を使って、「(強制的に)～させる」を表す表現は?

116  
120

117-2 君の冗談はいつも笑える。

Your jokes always (m ) (l ).  
**Tip** 「いつも笑える → いつも私を笑わせる」と表現する。

118 その女性はウェイターに一杯の水を持ってきてもらった。

The woman ( ) a (b ) her a glass of water.  
**Tip** 強制ではなく、相手が職務としてすべきことを「してもらう」を表す使役動詞は?

119 2つの理由があります。説明いたします。

There are two reasons. (m ) ( ).  
**Tip** 「私に説明をさせてください」と表現する。許可を表す使役動詞は?

120 母はいつも弟に野菜を食べさせる。

My mother always (g ) my ( ) ( ) vegetables.  
**Tip** 強制ではなく、説得して「～するように仕向ける[させる]」を表す使役動詞は?

Self  
Check

Words to Use  join / laugh / waiter / bring

116-1 Japanese companies **want their employees to be loyal**.

F 087 ▶ **SVO + to不定詞**では、Oとto不定詞の間に意味上のSV関係(Oが～する)が隠れており、「SはOが～することをVする」という意味になる。  
 **want A to do** 「Aに～してほしい」—Aは目的語(O)  
 ↑「～すること(to do)をAに望む(want A)」  
**I want to help him.** (私は彼を助けたい。)  
**I want you to help him.** (私はあなたに彼を助けてほしい。)

116-2 We **would like you to join us** for lunch in the cafeteria.

**would like A to do** 「Aに～してほしいのですが」  
 ▶ want A to doよりも控えめで丁寧な表現。→ 116-1

117-1 Today, few teachers **make students eat** all of their school meals.

F 089 ▶ **to**を付けずに動詞の原形で不定詞の働きをするものを**原形不定詞**と呼ぶ。  
**SVO + 原形不定詞**では、Oと原形不定詞の間に意味上のSV関係(Oが～する)が隠れており、「SはOが～することをVする」という意味になる。使役動詞や知覚動詞と共に使う。  
 ▶ make, have, let は SVO + 原形不定詞の形で「SはOに～させる」という意味を表し、**使役動詞**と呼ばれる。→ VI15-p.6, File20  
 **make A do** 「(強制的に)Aに～させる」—使役動詞  
 = force A to do = compel A to do

117-2 Your jokes always **make me laugh**.

F 183  **S make A do** 「S(物事)が原因でAは～する」—使役動詞 = cause A to do  
**①** 無生物(=物事)が主語(S)のとき、使役動詞の make は強制の意味を持たない。

118 The woman **had a waiter bring** her a glass of water.

F 089  **have A do** 「(Aがすべきことを)Aにさせる[してもらう]」—使役動詞  
 **bring A B** 「AにBを持ってくる」

119 There are two reasons. **Let me explain**.

F 089  **let A do** 「Aが～するのを許す、Aに～させてやる」—使役動詞  
 = allow A to do  
 **Let me explain.** 「説明します。」

120 My mother always **gets my brother to eat** vegetables.

**get A to do** 「(説得して)Aに～させる[してもらう]」  
**①** 使役動詞の make, have, let は原形不定詞を使うが、get は to 不定詞を使う。

## File 20 使役動詞 + O + 原形不定詞／使役動詞 + O + to不定詞

- make A do** 「(強制的に)Aに～させる」
- have A do** 「(Aがすべきことを)Aにさせる[してもらう]」
- let A do** 「Aが～するのを許す、Aに～させてやる」
- get A to do** 「(説得して)Aに～させる[してもらう]」 **①** get は to 不定詞を使う。

121 ケンはサラが学校の図書館に入るのを見た。

Ken ( ) ( ) ( ) the school library.

**Tip** 「Oが～するのが見えた」を表す表現は?

122 肩に何かが触れたような気がして、私は悲鳴を上げた。

I ( ) (s ) (t ) my shoulder, and I screamed.

**Tip** 「何かが触れたような気がして → 何かが触れるのを感じて」と表現する。

123 子どもたちは美術館の前に並ばされた。

The children ( ) (m ) ( ) (l ) (u ) in front of the

**発展**

**Tip** 「(強制的に) ~させる」の受動態の形は?

121  
125

124 容疑者が混雑した公園に入るのが目撃された。

The suspect ( ) ( ) ( ) ( ) the crowded park.

**Tip** 知覚動詞の受動態の形は? 「目撃された → 見られた」

125-1 タブレットは持ち運びやすく使いやすい。

Tablets ..... and use.

**Tip** 「Sは～するには簡単だ = Sは～しやすい」を表す表現は?

Self Check

## File 21 知覚動詞 + O + 原形不定詞

- see A do 「A が～するのが見える」  look at A do 「A が～するのを見る」
- watch A do 「A が～するのをじっと見る」
- hear A do 「A が～するのが聞こえる」  listen to A do 「A が～するのを聞く」
- feel A do 「A が～するのを感じる」
- notice A do = observe A do 「A が～するのに気づく」

Words to Use  see / enter / line up / carry

121 Ken **saw** Sara enter the school library.

F 089 ▶ 知覚動詞は SVO + 原形不定詞の形で「O が～するのを…する」という意味を表す。→ File21, VI19-p.8

see A do 「A が～するのが見える」 — 知覚動詞

122 I **felt** something touch my shoulder, and I screamed.

feel A do 「A が～するのを感じる」 — 知覚動詞

scream 「悲鳴を上げる」

123 The children **were made to line up** in front of the museum.

▶ 〈使役動詞 make + O + 原形不定詞〉や〈知覚動詞 see/hear + O + 原形不定詞〉を受動態で使う場合は、to 不定詞を使ってそれぞれ **be made to do / be seen to do / be heard to do** の形にする。使役動詞と知覚動詞の中でこの形になるのは make, see, hear の3つだけ。この問題文は make A do 「A が～せる」の受動態。

be made to do 「(強制的に) ~させられる」

line up 「整列する」

124 The suspect **was seen to enter** the crowded park.

be seen to do 「～するのを見られる」

▶ see A do 「A が～するのが見える」の受動態。原形不定詞をto 不定詞に変える。

125-1 Tablets **are easy to carry** and use.

F 093 = It **is easy to carry** and use tablets.

▶ easy や difficult のような難易などを表す形容詞は、後に不定詞を続けて、「S は～するには…だ」という意味を表す。→ File22

! carry and use の意味上の目的語は tablets。主語が不定詞の目的語の働きをしており、不定詞の後は目的語のない不完全な形となる。

tablets は carry と use の目的語

Tablets are easy to carry and use [ ] .

× Tablets are easy to carry and use them. は誤り。

125-2 Math problems **are difficult [hard] to solve** without practice.

= It **is difficult [hard] to solve** math problems without practice.

→ 125-1

without A 「A なしで」

## File 22 難易、危険・安全、快・不快を表す形容詞

- easy 「簡単な」  difficult / hard / tough 「難しい」
- safe 「安全な」  dangerous 「危険な」
- impossible 「不可能な」
- pleasant /plézɑ̃t/ 「楽しい」  unpleasant 「不快な」
- comfortable 「快適な」  uncomfortable 「不快な」
- convenient 「便利な」

5

不定詞

復習

126 本日, G7の首脳が広島を訪問することになっている。

The G7 leaders (a ) (v ) Hiroshima today.

**Tip** はっきりと決まっている公的な計画や行事について使う予定の表現は?

127 目標を達成するためには, きちんと計画を立てなければならない。

If you (a )(a ) your goals, you have to plan properly.

**Tip** 条件を表すif節の中で「～するためには→～するつもりなら」という意図を表す表現は?

128 その少年が公園に着くと, 友達の姿はどこにもなかった。

When the boy arrived at the park, his friends (w )(n )( ) ( ) ( ).

**Tip** 「友達の姿はどこにもなかった → 友達はどこにも見られなかつた[見つかなかつた]」と表現する。

129 「あなたは日本国外で暮らしたいですか。」「どちらとも言えません。」

“(W )( ) ( ) ( ) outside Japan?” “Yes and no.”

**Tip** 相手に控えめに「～したいですか」と尋ねる丁寧な表現は?

126  
131

130-1 健康でいるにはバランスのとれた食事をとることが重要だ。

It is important to eat a balanced diet ( ) ( ) ( ) (s ) (h ).

**Tip** 「～でいるために」という「目的」の意味を, より明確に表す表現は?

130-2 他人の気持ちを傷つけないように, 言葉を慎重に選ぶべきだ。

We should choose our words carefully ( to / hurt / in / not / the feelings / order ) of others.

**Tip** 「～しないように」を表す表現は?

Self Check

131 彼は親切にも年配の女性のためにドアを開けておいた。

-1 He was (k )( ) ( ) (h ) the door open for the elderly woman.

-2 He was ( ) (k )( ) ( ) (h ) the door open for the elderly woman.

**Tip** enoughを使った表現と, soを使った表現で表す。それぞれ語順に注意。

**Words to Use**  achieve / nowhere / see / stay / healthy / hold

126 The G7 leaders **are to visit** Hiroshima today.

**be動詞 + to不定詞**を〈助動詞 + 動詞の原形〉のように使うことができる。

**be動詞 + to不定詞**「～することになっている」—予定

▶ はっきりと予定が決まっている「公的な計画や行事」について使う。

127 If you **are to achieve** your goals, you have to plan properly.

**be動詞 + to不定詞**「～するつもりである」—意図

▶ 条件を表すif節の中で使う。

**Tip** 〈be動詞 + to不定詞〉は, ほかに義務・命令「～しなければならない」, 運命「～する運命にある」などの意味を表すこともある。

128 When the boy arrived at the park, his friends **were nowhere to be seen [found]**.

**be動詞 + to be done**「～されることができる」—可能

**Tip** 主に否定文で使い, to不定詞は受動態にすることが多い。

**be nowhere to be seen [found]**「どこにも見られない[見つからない]」

129 “**Would you like to live** outside Japan?” “Yes and no.”

**would like to do**「～したい」

▶ want to doよりも控えめで丁寧な表現。

**Tip** would like A to do 「Aに～してほしいのですが」 → 116-2

**outside Japan**「日本国外で」 ⇔ **in Japan**「日本国内で」

**yes and no**「どちらとも言えない」

130-1 It is important to eat a balanced diet **in order to stay healthy**.

**in order to do = so as to do**「～するために」

▶ 不定詞の副詞的用法の to do 「～するために」よりも「目的」の意味を明確に表す。

**Tip** so + 形容詞 [副詞] + as to do 「～なので…する」と混同しないこと。 → 131-2

**eat a balanced diet**「バランスのとれた食事をとる」

**stay healthy**「健康でいる」

130-2 We should choose our words carefully **in order not to hurt the feelings** of others.

**in order not to do = so as not to do**「～しないように」

**Tip** in order や so as を付けずに, not to doだけで「目的」の意味の「～しないように」は表せない。in order not to do や so as not to do を使うこと。

**the feelings of others**「他人の気持ち」

131-1 He was **kind enough to hold** the door open for the elderly woman.

-2 He was **so kind as to hold** the door open for the elderly woman.

**形容詞 [副詞] + enough to do** 「…するほど～」

**so + 形容詞 [副詞] + as to do** 「(十分/とても)～なので…する」

▶ 形容詞・副詞は enough の直前, so の直後に置く。

= **so + 形容詞 [副詞] + that ...**「とても～なので…」 → 262

**hold the door open**「ドアを開けておく」

131-3 彼女は強いて簡単にはあきらめない。

She is ( ) (e ) ( ) (g ) ( ) easily.

Tip 「(十分) ~なので…しない」を表す表現は?

132 今週はあまりに忙しくてプロジェクトの手伝いができない。

I'm (t ) ( ) (h ) ( ) the project this week.

Tip 「あまりに~なので…できない」を表す表現は?

133 チャットを始めるにはアイコンをクリックするだけでいい。

-1 (you / click on / all / to / have / do / is) the icon to start chatting.

-2 = You (o ) ( ) ( ) ( ) the icon to start chatting.

Tip 2通りの言い方で、それぞれ「しなければならないすべてのことは~だ」「~だけしなければならない」と表現する。

134 実を言うと、私は歌があまり得意ではない。

To ..... , I'm not very good at singing.

Tip 「実を言うと」を表す定型表現は?

135 さらに悪いことに、その女性はバスに乗り遅れた。

( ) ( ) (m ) ( ), the woman missed her bus.

Tip 「さらに悪いことに」を表す定型表現は?

136 貧困が子どもの教育に影響を与えることは言うまでもない。

( ) ( ) (s ), poverty affects children's education.

Tip 「言うまでもなく」を表す定型表現は?

137 インターネットは、いわば、異文化への入り口だ。

The internet is, ( ) ( ) ( ), a gateway to different cultures.

Tip 「いわば」を表す定型表現は?

138 母国語の英語はもちろんのこと、ナオミはフランス語も流ちょうに話す。

Naomi speaks French fluently, ( ) ( ) (n ) ( ) her native English.

Tip 「~は言うまでもなく」を表す定型表現は?

131-3 She is **strong enough not to give up** easily.

形容詞 [副詞] + **enough not to do** 「…しないほど～、(十分)～なので…しない」

▶ to不定詞の直前に not を置く。

132 I'm **too busy to help with** the project this week.

= I'm **so busy that I can't help with** the project this week.

**too** + 形容詞 [副詞] + **to do** 「…するには～すぎる、あまりに～なので…できない」

▶ 肯定文だが否定の内容を表す。形容詞・副詞は too の直後に置く。

= **so** + 形容詞 [副詞] + **that S' can't** ... 「とても～なので S' は…できない」

**help with A** 「A(物事)を手伝う」

133-1 **All you have to do is click on** the icon to start chatting.

-2 = You **only have to click on** the icon to start chatting.

**All S have to do is (to) do** } 「S は～しさえすればよい」

**S only have to do**

▶ 「All S have to do is + 補語」の補語は to不定詞よりも原形不定詞のほうが普通。

**click on an icon** 「アイコンをクリックする」

134 **To tell (you) the truth**, I'm not very good at singing.

F 097 ▶ 不定詞が文全体を修飾することがある。この不定詞の副詞的用法を**独立不定詞**と呼ぶ。→ File23

**to tell (you) the truth** 「実を言うと」

135 **To make matters worse**, the woman missed her bus.

**to make matters worse** 「さらに悪いことには」一文頭または文中で使われる。= what is [was] worse

136 **Needless to say**, poverty affects children's education.

**needless to say** 「言うまでもなく」一文頭または文中で使われる。

**affect A** 「A に影響する」= **influence A** = **have an effect on A**

137 The internet is, **so to speak**, a gateway to different cultures.

**so to speak = as it were** 「いわば」一文頭または文末で使われる。

**a different culture** 「異文化」

138 Naomi speaks French fluently, **to say nothing of** her native English.

**to say nothing of A** 「A は言うまでもなく」  
= **not to speak of A** = **not to mention A**

### File 23 その他の独立不定詞

**to be sure** 「確かに(…だが)」  **to be brief** 「簡潔に言うと」

**to be honest (with you)** 「正直に言って」

**to be frank with you** 「率直に言うと」  **to do A justice** 「A を正しく評価すれば」

**strange to say** 「奇妙なことに」  **not to say A** 「A とは言わないまでも」

**to say the least** 「控えめに言っても」  **to begin [start] with** 「初めに」 → 1311-2